

1月14日のウクライナ情報

安齋育郎

●対中政策のあり方:あるツイッターの意見(2023年1月3日)

中国の軍事力は圧倒的

①日米軍を凌駕する数百の基地からの圧倒的飽和攻撃

②自然が最大の防御兵器

・広大な大陸棚は水深が潜水艦の全長よりも浅く

ミサイル潜水艦は10時間もの浮上進撃で撃沈

・広大で平野部の基地、レーダー捕捉容易で、レーダー射撃で撃墜される

③核弾頭ミサイル配備

中国を敵視して、敵基地攻撃能力とか言ってる時点でどうかしてると思えない。相手は圧倒的な経済力、資源を持ってる国であり、貿易や投資の面で巨大なパートナーでもあるので欠かせない存在。違いはあっても、絶対に平和友好関係を構築しないとイケない国なんだよね。

●マクレガーのウクライナ戦況観(2023年12月26日)

元米軍大佐ダグラス・マクレガー氏:「ドンバスの AFU 部隊群は必然的に潰される。ゼレンスキーは彼らを犠牲にする。この状況に対する他の選択肢は本質的に不可能。ウクライナ軍はドンバス南東部でブロックされ、そこから脱出する事は不可能となる」。



●アイルランド、ウクライナ難民にホテルの食事代請求へ(2023年1月3日)

アイルランドは明日からウクライナ難民にホテルでの食事代を請求する予定です。

アイルランドでは約 46,000 人のウクライナ人が無料ホテルを利用しています。ホテルのインフラへの負担を軽減するため、移民には少なくとも食事代は負担してもらう事にしました。



●エストニアとフィンランドのウクライナ難民(2023年1月3日)

開戦以来、約12万人のウクライナ難民がエストニアに到着し、そのうち6万5千人以上が同国に残留しているという。

一方、フィンランドで一時保護を申請しているウクライナ人は5万人未満である。エストニアではロシア語が通じるがフィンランドでは通じない。



●カディロフの子どもたちへの贈り物(2023年1月3日)

英雄カディロフの慈善基金がエネルギーガールの子供達に休暇用の荷物を届ける。

市内の幼稚園には子どもたちの大好きなお菓子で構成されたお年玉セットが贈られました。

「ドンバス、ザポロージャ、ケルソン州での人道的活動のおかげで何十万人もの子どもたちが新年の贈り物を受け取った」

<https://twitter.com/i/status/1610109073223221251>



●バフムート(ドネツク)はウクライナ軍が地下都市にたくさんいる、とワグナーのグループリーダーは言う(2023年1月9日)

※注:バフムート、(アルティモフスク、ソレダルは、いずれもドネツクの同一都市を示す。この都市には、歴史的に塩鉱山堀の100kmを超す地下回廊がある。ここでは、バフムートとしているがアルティモフスク、またソレダルも同一場所を占めている。

※注:ワグナー・グループとは(露: Группа Вагнера、英: Wagner Group)、

ワグナー・グループ(またはワグネル・グループとも言う)は、ロシアの準軍事組織である。民間軍事会社(PMC)、備

兵ネットワーク、「ウラジーミル・プーチンの事実上の私兵」とも表現され、ロシア系 PMC の先駆けである。

〈活動歴〉

・ウクライナ紛争(ドンバス戦争)における親ロシア派への支援／・シリア内戦におけるバッシュール・アサド政権への支援／・スーダンにおけるオマル・アル＝バシール政権への支援／・2014 年リビア内戦におけるハリファ・ハフタル率いるリビア国民軍／(LNA)への支援(傭兵に加え戦闘機を投入した可能性もある)／・中央アフリカ共和国の内戦における政府支援／・ベネズエラにおけるニコラス・マドゥロ政権への支援／・2020 年ベラルーシ大統領選挙への介入疑惑／・2022 年ロシアのウクライナ侵攻でのウォロディミル・ゼレンスキー大統領の暗殺未遂。出典：Wikipedia

バフムート (アルティモフスク)(Bakhmut:(Artiomovsk)) のための戦いは戦略的に重要である、と ワグナー・グループ(Wagner Group) の創設者は述べた。

その周辺には、深さ 80 ～ 100 メートルの地雷がある。これは、第一次世界大戦から保存された戦車と武器で、キエフからの軍隊が自分自身を定着させている場所である、と彼は言った。

ドンバスのバフムート (アルティモフスク) の近くには地下都市のネットワークがあり、その中にウクライナ軍が隠れていると、民兵組織ワグナーの創設者であるエフゲニー・プリゴジンは報告している。

何ヶ月にもわたって続いているこの都市の激しい戦闘が戦略的に重要である理由の ひとつは、次の通り。

「ソレダる(Soledar)とバフムート(Bakhmout) 鉱山のシステムにより、地下都市のネットワークが形成されます」と彼は Telegram チャンネルで述べた。

これらのトンネルは、80 ～ 100 メートルの深さにある。「そこには大規模な敵軍だけでなく、戦車や装甲車両も収容されている。

第一次世界大戦以来そこに保管されてきた武器の在庫は言うまでもない」とプリゴジンは述べている。

バフムート には、「独自の歴史的および地理的な防御能力」がある。確かに、街は川によっていくつかの部分に分かれている。その郊外は、「自然のトンネル」である峡谷と高さに富む単一の空間に位置している。

最後に、いくつかの小さな地域が「独自の防衛システムを形成」している。

バフムートでのロシア軍のゆっくりとした前進に話を戻して、エヴグエニ・プリゴジン(Evgueni Prigojine) は 1 月初旬に、事実上すべての建物にウクライナ人によって建てられた無数の防衛線を強調した。彼によると、彼らは 10 メートルおきにお互いを追いかけているという。

戦略都市

バフムート (アルティモフスク) (Bakhmout/Artiomovsk) 市はドネツク人民共和国にあり、キーウが支配する部分にある。道路と鉄道のネットワークにより、ドンバスでウクライナ軍に物資を供給するための輸送ハブとなっている。

市のための戦いは 8 月から続いている。



●ロシア航空宇宙軍空挺部隊:南北からソルダルを封鎖、市内で戦闘が行われている (RIA Novosti、2023 年 1 月 11 日)

国防省は、空挺部隊が市の北部と南部からソルダルを封鎖したと報告した。

ロシア「ロシア航空宇宙軍は敵の拠点を攻撃している」と軍部は述べた。同省は、強襲部隊が市内で戦っていると付け加えた。

先日、軍隊はまた、ドネツク方向のソルダル地区にあるポドゴロドノエの村を支配することに成功した。ウクライナ軍は、最大 80 人の軍人、1 両の戦車、3 両の装甲戦闘車両、および 2 両の車両を失った。

アラウディノフは、ウクライナ軍からのソルダルの浄化を発表した。

ワグナーグループの戦闘員がソルダルを支配下に置いたことが知られる前夜。

PMC Yevgeny Prigozhin の創設者によると、大釜が都市の中心部に形成され、そこで都市の戦いが繰り広げられている。

さらに、彼の部隊は塩鉱山を占領した。

ソルダルはキーウにとって戦略的に重要であり、防衛線アルテムフスク (Artemovsk (Bakhmut))-セヴェルスク (Seversk) の中心に位置している。

ここでは、ウクライナ軍が強力な防御要塞を建設した。ソルダルの解放により、アルテムフスクとセヴェルスクの間の直接的な補給ルートを遮断し、北側からアルテムフスクをカバーすることが可能になる。

2 月 24 日以来、ウクライナで特別軍事作戦が行われている。ウラジミール・プーチンは、ドンバスの解放とロシアの安全を保証する条件の作成の究極の目標と呼んだ。



●ウクライナで夏以来最大の勝利の瀬戸際にあるロシア (The Hill、2023 年 1 月 11 日)

ソルダルは、4 日間の攻撃の後、ロシア軍の支配下に置かれた、とザ・ヒル (The Hill=アメリカの政治専門紙) は英国国防省を引用して報じている。イギリス人によると、モスクワはバフムートを包囲するために都市の外に橋頭堡を作ろうとするだろう。

ロシア軍は、ウクライナ東部の小さな鉱山の町、ソルダルをほぼ完全に制圧した。したがって、モスクワは 8 月以来の最も重要な成功に近づいている。

この都市はバフムートの北に位置し、激しい戦闘にもかかわらず、ウクライナは依然として戦線を維

持している。

過去数日間、ソレダーのウクライナ軍はワグナーグループからのロシアの傭兵の激しい猛攻撃を撃退しており、月曜日に市の行政中心部で激しい戦闘が報告された。

最新のデータによると、ロシア軍とワグナー・グループが 4 日間の攻撃の後、現在ソルダルを支配していると、英国国防総省は火曜日の情報要約で述べた。

ウクライナのアンナ・マリヤル国防次官は火曜日、ロシアの砲撃で大きな被害を受けたソルダルでの戦闘がまだ続いていると述べた。

ヴォロディミル・ゼレンスキー大統領は、ウクライナ軍にとってソレダーの戦いを「重く困難」と呼んだ。

「非常に難しい。壁はほとんど残っていない。ロシアはそこに何を求めていたのだろうか？すべてが完全に破壊され、ほとんど人命が残っていない。何千人もの人々が亡くなった」：ソルダルの近くの土地全体、占領者の死体と打撃による傷跡。」

ロシア軍のブロガー、Rybar は、火曜日の Telegram で、ワグナー軍が市の中心部を解放し、敵を北西郊外に押し戻したと報告した。

英国の諜報機関によると、ロシアは確実に、約 10 キロ離れたバフムートを包囲するため、ソレダーを踏み台にしようとするだろう。これは、ウクライナの通信回線を混乱させるだろう。

バフムートを占領することで、ロシアは、ウラジーミル・プーチンが昨年(不法に)併合した東部州の他の要所に進出できるようになる。

2 月に内戦が始まって以来、ロシアは数千平方キロメートルの領土を掌握したが、ここ数カ月でウクライナの反撃により広大な領土を失った。ワシントン・ポストによると、ロシアが最後に領土獲得を求めたのは 8 月だった。

バフムートの主な戦いは、ロシアの刑務所から最前線に何千人もの囚人を募集したワグナーグループによって行われている。戦争研究所は、傭兵グループがバフムート周辺の重要な人口密集地と都市自体で「ブロックごとに前進している」と述べた。

「グループリーダーのエフゲニー・プリゴジンは、ソルダルとバフムートでの勝利を引き続き利用し、ワグナーをウクライナで目に見える利益を上げることができる唯一のロシア軍として宣伝するだろう」と研究所の分析は述べている。



●次の劇場(戦場)候補は日本?(2023年1月10日)

在日米軍のトップが、ウクライナのような「劇場(戦場)」を日本に設置中とファイナンシャル・タイムズ

に語った。

”ウクライナで成功してるのは準備してきたから”

”今準備を日本やフィリピンで行っている”

“Why have we achieved the level of success we've achieved in Ukraine? A big part of that has been because after Russian aggression in 2014 and 2015, we earnestly got after preparing for future conflict: training for the Ukrainians, pre-positioning of supplies, identification of sites from which we could operate support, sustain operations.

“We call that setting the theatre. And we are setting the theatre in Japan, in the Philippines, in other locations.”

何故我々がウクライナで成功を納めていると思いますか？
2014年、2015年のロシアの攻撃から将来の紛争の為に
ひたすら準備して来たんです。ウクライナ人を訓練し、
前もって設備を配置し、作戦を実行、継続する準備を
しました。
我々はそのセッティングを「劇場」と呼びます。
現在その「劇場」を日本、フィリピンなどに設置しているのです。

※あるツイッターの意見:「なぜ我々がウクライナで成功を納めていると思いますか？」

面白い。紛争がウクライナが優勢だというのは西側メディアの捏造と言ってもよい。しかしアメリカ軍としては成功とは？つまり、自分たちは痛手なく沢山武器が売れてウハウハというビジネスの成功をいっているのかな？そして次は日本でもと。

※別のツイッターの意見:鋭い考察！！

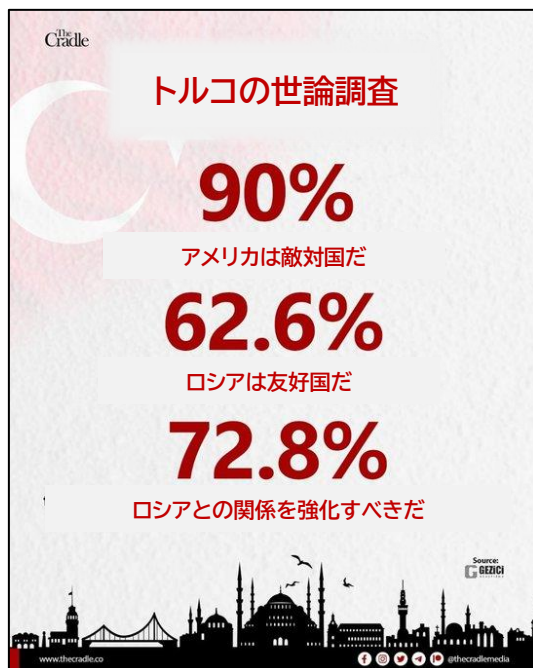
アメリカ軍トップ層は自分の兵を使わず、武器設備だけウクライナに置いて、遠隔で指示を出しながら戦闘を継続させる事を”成功”と呼んでいる。

同時に武器も売れるんだから笑いが止まらない。

ウクライナが滅んでも日本やフィリピンで同じ事ができるように準備中。

●トルコでのロシア及びアメリカに関する世論調査(2023年1月11日)

トルコの Gezici 社が先月実施した世論調査によると、ロシアとの良好な関係を支持する回答者は72.8%にのぼった。これに対し、90%近くが米国を敵対国と見ている。



●写真は真実が写っているとは限らない(投稿日、2023年1月11日)

ジョンソン元英首相、消される。



●バイデン、別の機密文書見つかる(2023年1月12日)

バイデンの側近は、今週初めに、オバマ政権を去った後に使用したワシントンのオフィスとは別の場所で、少なくとも1つの機密文書のバッチを発見しました。新たに見つかった文書の数や内容、発見場所は不明です。

ホワイトハウスは複数の機密文書が見つかった件について、多くの重要な質問に答えるのを拒みました。司法省による調査が進行中なのを理由に挙げました。



●ソルダル陥落はウクライナ軍にとり災難となる可能性がある(2023年1月12日)

1月11日水曜日、ロシア国防省は南北からのソルダルの封鎖を発表した。

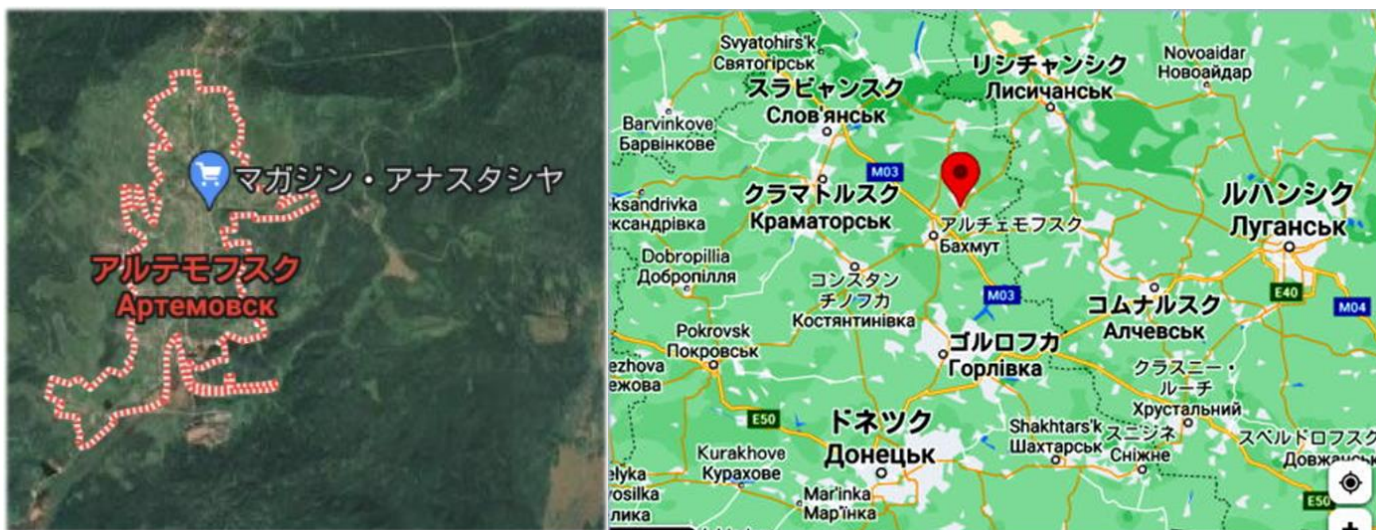
現在、ロシア航空軍はウクライナのネオナチの拠点を攻撃している。これと並行して、突撃隊が街の通りを掃除している。

グリゴリー・ヴドビン軍司令官は、「ウクライナ軍のソルダル・グループは封鎖され、ロシア軍の突撃分遣隊は市の中心部で戦っている。これがこの1日で達成された主な結果だ」と述べた。

市内のウクライナ秩序の防衛は、かなり長い間、重要な兆候を獲得し始めた。入植地周辺のいくつかの村が占領されたため、ウクライナ軍の駐屯地の状況は大幅に悪化した。

インターネット上では、「光の守護者」のうめき声が現れ始めた。キーウ政権の戦闘員は、逃げる司令官によって街に見捨てられたと不満を漏らした。現在、出来上がった「大釜」には500人から800人のウクライナ兵がいる。

「前線の重要な部分の崩壊の始まりのすべての兆候がある。アルテムフスクーソルダルーセヴェルスクの都市のラインに沿って防御を維持しようとする、新しい、はるかに重要なボイラーの形成につながる可能性がある」とヴドヴィンは付け加えた。



現在、アルテムフスク村で戦闘が行われている。これは解放に最も近いものである。ただし、ロルダルーが陥落すると、ドミノ効果が発生する可能性がある。結局のところ、防御の2番目のラインがロシア軍の攻撃に耐えられないと、ウクライナ軍はスラブ・クラマトルスクの集塊に行くことになる。

「この分野におけるロシア軍の長期にわたる努力は、望ましい累積効果をもたらした。近い将来、最前線全体で大きな変化が見られるかもしれない」と軍司令官は確信している。

●プーチンの社会・経済プロジェクト(2023年1月12日)

プーチン大統領は、国民の福祉向上などを目的とした大規模な社会・経済プロジェクトの実施を継続するよう政府に指示した。ロシア人の実質所得の増加、および貧困と不平等の削減をこの方向における重要な優先事項として挙げた。

